

《潮見台地区小中一貫教育目標》

未来を生き抜く力を育む教育の推進

《教育目標》

平和を愛し理想の実現に向かって自己を高める

- 学習計画を根気強く実行する人
- 節度ある生活態度で協力する人
- 心身ともに健康で美を追求する人

キーワード

- ・ 見方や考え方を活かす
- ・ 出会った人を幸せに
- ・ 小中のつながり
- ・ 「もったいないね」
- ・ 感情を考察
- ・ 当たり前のこと

目次：

学びを活かす潮中生が素敵です	1
冬も入荷“推しの一冊”	2
公開研究会開催！ 全員参加の国語の授業	3
SDGs～フードロスをなくす取組～ フードロス削減カフェ 今年もオープン	4
第9回小樽音読カップに挑戦 ～生徒の感想～	5
他	

ホームページアドレスとQRコード
http://
www.otaru.ed.jp/
shiomidai/



潮見台中生の表現活動

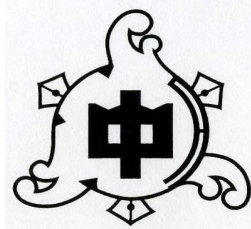
ネットでも

画面の先には

人がいる

どうしん川柳十一月十四日掲載

三年一組 成田 美月



学校だより
み お

水脈

第9号

小樽市立

潮見台中学校

小樽市潮見台1丁目17-1

TEL 0134-33-1080

1. 学びを活かす潮中生が素敵です 校長 高橋 恒雄

今年のカレンダーも最後の1枚となります。「新型コロナ」が一段落し、小樽の町にも観光客が戻ってきました。平和で穏やかな日常が始まっています。

しかし、世界に目を転ずれば、ウクライナの戦争は終息せず、イスラエルにまた新たな火種が生まれています。また、地球温暖化の影響か、暑すぎる夏、豪雨に強風、クマの出没等々…、きっとどこかで関連づいている様々な危機に対応することが必要な時代になっています。

未来を担う若者達には、身の回りに起きている事象を広い視野で捉え、各教科で身に付けた「見方や考え方」を活かし、最適な答えを見つける情報活用能力（メディアリテラシー）をはじめとする総合的な能力が必要とされています。つまり、子ども達がやがて社会に出てからも、刻々と変化する事象を正確にとらえ、自分が安全かつ自律して生活できるように、「学び続ける姿勢」を身につける事が求められているのです。

さて、本校の学びを振り返ると、どうでしょう。先日任期を満了した前期生徒会が最後の活動として「フードロスをなくそう！」と呼びかけ、余った牛乳を使い、全校生徒150人分のプリンを作り仲間に分りました。各教科で学んだことを「知識」で終わらせるのではなく、「行動」や「発信」に

つなげていることが素晴らしいです。

本校で発揮されている学習の成果は子ども達の学ぶ高い意識と強い意欲があるからこそ生まれたものだと考えます。子ども達とその姿勢を育んだご家族・地域・小学校に感謝します。

潮見台中学校には、受験期を迎えた3年生はもちろん、1年生2年生にも、学年を問わず日頃から授業に集中する姿があります。最近は、苦手をそのままにせず、放課後の学習や家庭学習で補完するたくましい姿も増えてきました。今の頑張りが、それぞれが15歳の春を迎えた時、受験当日の自分をきっと助けてくれるはずですよ。

2学期も残すところ、3週間です。共に学ぶ仲間を大切に、自らの将来の夢実現に向けて、思いを込めて一日一日を充実したものにして欲しいと願っています。

ご協力ありがとうございます

11月20日～24日に生徒会の呼びかけで赤い羽根共同募金が行われました。一週間という限られた



朝の募金活動：玄関前

期間でした

が、5,555円の厚意が集まりました。感謝致します。

2. 冬も入荷“推しの一冊”

今年も残り1ヵ月ほどとなり、2学期も残りわずかですね。この1年で皆さんはどんな本を読みましたか？お気に入りの本に出会うことはできたでしょうか。1年の締めくくり今年の一冊を見つけに図書館へ足を運んでみてくださいね♪皆さんの来館をお待ちしています。

(文責：伊原 真実)



老人ホームに暮らすクリスがマンハッタン34丁目の百貨店にサンタクロースとして雇われ、出会った人たちを幸せにしていくな温まるクリスマスストーリー。

34丁目の奇跡

/ヴァレンタイン デイヴィス著

あすなろ書房 2002年

24時間子供SOSダイヤル
0120-0-78310

3. 公開研究会開催！全員参加の国語の授業

11月17日（金）に本校で「公開研究会」が行われました。本校の研究テーマ『「かかわり」「つながり」見通しを持って学びに向かい、自分の考えを適切に発信する生徒～目指す生徒像の実現に向けて～』を意識した国語の授業を千葉祐也教諭が1年2組で行いました。

30名以上の先生方が見守る中、生徒たちは普段通りの姿で学びを深めました。参加者からは「同じ校区として力を合わせて頑張りたい」「中学生になっても素直で明るい雰囲気の子もたちを見て安心した」「小中連携が進んだ一年間だったと感じる」との感想をいただき、小中のつながりの大切さを改めて感じた意義深い一日となりました。



潮見台小学校の先生方に見守られながらの1時間

4. SDGs～フードロスをなくす取組～ フードロス削減カフェ 今年もオープン♡

食品ロスを減らす取組を始めて3年目になります。「給食で残るパンや牛乳を捨ててしまうのはもったいないね～」という思いからスタート。2年続けてフレンチトーストだったので、「今年はどうしよう？」と生徒と話し合い、プリンに決定しました。150個のプリンを生徒会メンバーががんばって作りました。参加した生徒たちの笑顔には「がんばってよかった！」という達成感がいっぱいあふれていて嬉しく思いました。

（村川香織教諭）

前期生徒会メンバーで、プリンを無事につくることができ、当日はスムーズに全校生徒に配り、食べてもらうことができました。友達や多くの人から、「おいしかった！」「ありがとう！」と言われてとても嬉しい気持ちになりました。この取組は、できることなら今後もずっと続けてほしいと思います

（3-1平田陽音）



心を込めてプリンをつくる

5. 第9回小樽音読カップに挑戦～生徒の感想から～

私にとって音読を発表する機会は音読カップが初めてだったのですごく緊張しました。なぜなら最初は体育館ぐらいの広さだと思っていましたが、本番は市民会館という大舞台だったからです。賞をとれなかったのは残念ですがいい経験になったと思います。また機会があればやってみたいです。

（1-2

千葉直輝）
私が音読カップで、大変

だったことはセリフと他の文のスピードを声の高低でわけることです。練習では何度もつまづきました。役柄を理解し感情を考察しながらの作業だったので、少しでも



間違えると全く違うように相手に伝わってしまいます。本番まで頑張ることができたのは、応援してくれた学級みんなや先生方のおかげです。本当にありがとうございます。

（2-1遠藤かさね）



6. 潮中生の活躍

○小樽地区中学生新人バドミントン選手権
男子団体 3位

男子ダブルス 山村 智仁・澤里 幸也 4位
女子ダブルス 島 くるみ・矢倉 唯愛 3位

○第9回音読カップ

1年生千葉 直輝 題材「星の花が降るころに」

2年生遠藤 かさね 題材「盆土産」奨励賞受賞

<敬称略>

ことばを感じる

当たり前のことを

当たり前にやったら

ええ結果がでる

阪神タイガース監督 岡田影布



※ 寒くなりました。靴下の替えを毎日準備するなど、体を冷やさないよう工夫してみるとよいと思います！感染症対策も万全に！

※ 11月27日（月）のコミュニティスクール説明会に、保護者・地域の皆様がたくさん参加していただきました。心から感謝申し上げます。